

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 31 日作成)

| | | |
|------------------------------|--|---|
| 小委員会名 | 期限到達後の期限付き建築物小委員会 | 主 査 名：木村 麗 就任年月：2021 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (仮設構造運営委員会) | 委員長名：五十田 博 (主 査 名：松永 茂実) |
| 設 置 期 間 | 2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>設置目的：「建築部材のリユースマニュアル・同解説（2009）」の見直しを見据え、期限付き建築物の期限到達後の“構造部材のリユースと移築”と“期限の延長と更新の可能性”について検討し課題整理の実施を目的とする。</p> <p>初年度：「期限付き建築物設計指針（第 2 版）」の査読対応。 期限到達後の期限付き建築物として、“構造部材のリユースと移築”と“期限の延長と更新の可能性”について検討を開始。 期限付き建築物の実用普及を目的に設計例に関する拡大委員会を開催。</p> <p>2 年度：「期限付き建築物設計指針（第 2 版）」の講習会実施。 期限到達後の期限付き建築物に関する検討の継続。 改定講習会の質疑等を踏まえ、期限付き建築物の実用や普及に向けた活動（地震荷重等の検討や設計例に関する拡大委員会の開催）を継続。</p> <p>3 年度：期限到達後の期限付き建築物に関するパネルディスカッションを開催。</p> <p>4 年度：3 年度のパネルディスカッションを踏まえた検討を実施。 「建築部材のリユースマニュアル・同解説（2009）」の見直しを見据えた検討を実施。</p> | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | |
| | 主査：木村麗（建材試験センター） 幹事：岩崎敏之（静岡文化芸術大学）、佐々木健友（太陽工業） 委員：軽部正彦（森林研究・整備機構）、木村衛（エイ構造研）、近藤吉治（構造計画研究所）、辻聖晃（大阪電気通信大学）、林篤（JR 東日本建築設計）、古川忠稔（中部大学）、森保宏（名古屋大学） | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | なし | |
| 2022 年度予算 | 280,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv. aij. or. jp/kouzou/s31/ |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|--|
| 委員会開催数 | 12 回（年度内計画を含む） |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 初年度は、前小委員会で未達となっていた「期限付き建築物設計指針(第 2 版)」の執筆について完了し運営委員会査読を終え、構造委員会査読の段階まで進み、進捗を取り戻した。だが、構造委員会査読に時間を要し、さらに、査読者追加となり、2 年度中の査読終了・刊行は困難な状況で、当初の計画とはずれを生じているが、小委員会として出来ることは速やかに対応し進めている。 2. 期限到達後の期限付き建築物の検討を継続した。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 刊行物については、諸手続きを経て執筆しているので、執筆完了後は速やかに刊行されると良い。 |